

# 国立大学における男女共同参画推進の実施に関する 第11回追跡調査について

一般社団法人 国立大学協会  
教育・研究委員会 男女共同参画小委員会



国立大学協会では、男女共同参画を推進していくために、2011年2月『国立大学における男女共同参画推進について—アクションプラン—』（以下、アクションプラン）を策定し、大学が取り組むべき事項を提言するとともに、達成目標を定めました。

その達成状況及び各大学の取組み状況の把握、各大学や関連機関への情報提供を目的として、『国立大学における男女共同参画推進の実施に関する追跡調査』を2001年以降継続的に実施しており、このたび第11回目の調査を実施いたしましたので、その結果を公表いたします。

（アクションプラン：[http://www.janu.jp/files/danjyo\\_actionplan.pdf](http://www.janu.jp/files/danjyo_actionplan.pdf)）

（報告書の全文：[http://www.janu.jp/active/txt6-2/201502houkoku\\_01.pdf](http://www.janu.jp/active/txt6-2/201502houkoku_01.pdf)）

## アクションプランで掲げた達成目標

国立大学の女性教員比率を 2015年までに17%以上（各大学において1年ごとに1%以上）に引き上げる。

## 第11回追跡調査結果の概要

### 男女共同参画の現状(統計調査)

#### ○女性教員比率が増加した大学数等

2014年5月1日現在の女性教員比率は **14.7%** となり、前回調査より0.6%増加しました。

また、アクションプランの達成目標である女性教員比率 17%以上の大学は、86大学中29大学 となり、前回の調査より2大学増加しました。

なお、大学別女性教員比率の平均は16.0%\*となり、前回調査より0.5%増加しました。

※大学別女性教員比率の平均＝各大学における女性教員比率の平均値（86大学）

女性教員比率	第9回(2012)	第10回(2013)	第11回(2014)
17%以上	22大学	27大学	<b>29大学</b>
(15%以上	40大学	45大学	<b>55大学)</b>



#### ◇前年度より女性教員比率が1%以上増加した大学 24大学

総合研究大学院大学(4.7%増)、鹿屋体育大学(2.5%増)、岡山大学(2.1%増)、鳴門教育大学(2.0%増)、長崎大学(1.9%増)、滋賀医科大学(1.8%増)、弘前大学・宮崎大学(1.6%増)、東京外国語大学(1.5%増)、鳥取大学(1.4%増)、室蘭工業大学・東京農工大学・群馬大学・山口大学(1.2%増)、宮城教育大学・筑波技術大学・兵庫教育大学(1.1%増)、電気通信大学・信州大学・金沢大学・名古屋大学・和歌山大学・高知大学・佐賀大学(1.0%増)

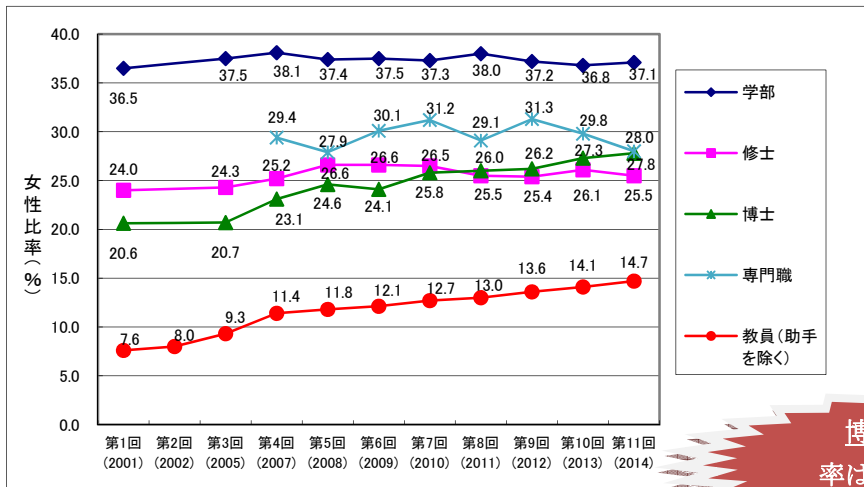
#### ◇前年度より女性教員数が10名以上増加した大学 17大学

岡山大学(64名増)、名古屋大学(42名増)、東京大学(40名増)、長崎大学(33名増)、九州大学(31名増)、大阪大学(26名増)、北海道大学(22名増)、筑波大学(19名増)、神戸大学(18名増)、京都大学(16名増)、鳥取大学(14名増)、群馬大学・山口大学(12名増)、信州大学・宮崎大学・鹿児島大学(11名増)、徳島大学(10名増)

## ○大学における女性比率推移

国立大学における女性教員比率は 14.7%※となり、前回調査より 0.6 ㊦増加しました。引き続き達成目標に向けて、男女共同参画に係る取組を推進していきます。

※国立大学における女性教員数の比率＝国立大学女性教員数（助手を除く）／国立大学教員数（助手を除く）



### <女性比率>

教員（助手を除く） 14.7%

学部卒業者 37.1%

修士課程修了者 25.5%

博士課程修了者 27.8%

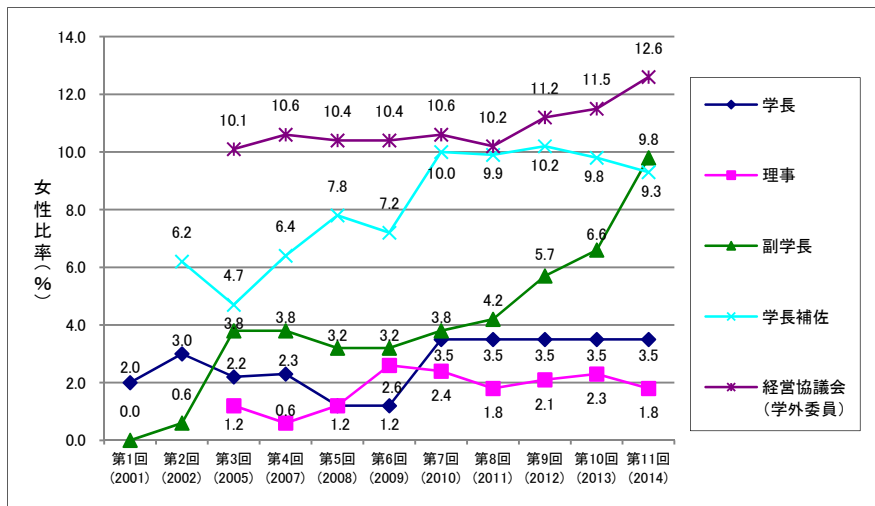
専門職大学院修了者 28.0%

※第2回調査では学生について調査を行っていない。  
※第4回調査からは学校教育法の改正により従来の助手が「助手」及び「助教」に分けられ、助教がデータに含まれている。

博士課程修了者、教員の女性比率は着実に上昇しています！

## ○大学の意思決定過程における女性比率

アクションプランでは、『大学運営における意思決定過程への女性の参画の拡大』を提言しており、その女性比率は上昇傾向にあります。



### <女性比率>

学長 3.5%

理事 1.8%

副学長 9.8%

学長補佐 9.3%

経営協議会(学外委員) 12.6%

※理事、学外委員等については、第3回調査以降(法人化後)の数値を掲載している。  
※第1回調査では学長補佐について、調査を行っていない。

## アクションプランを踏まえた各大学の特に成果を上げた取組

前回調査時点(平成25年5月1日)以降、アクションプランを踏まえて、各大学において特に成果を上げた新たな取組み等について、自由記述で確認を行いました。アクションプランの提言毎に取組みをまとめましたので、是非ご覧ください。(報告書 P90 参照)

### (取組事例)

- 男女共同参画室の更なる充実、男女共同参画担当の副学長・学長補佐を配置。
- 教員の女性限定公募やアカデミックアシスタントの配置。
- 保育所の設置や休日における勤務支援策として一時託児ルーム開設の試行実施。
- 各方面で活躍するロールモデルとなる女性を講師に招き、女子学生対象の共通教育科目を開設。

当協会ホームページに男女共同参画関連サイトを開設しております！

アクションプランや第1回～第11回までの追跡調査報告書がダウンロード可能です。

<http://www.janu.jp/post.html>